

2019年12月度の発明発表会と忘年会

発表会： 12月15日 13時～16時

参加者： 6名

1、「発明協会主催の公友会」岩崎氏

先日、発明協会が主催する年末の公友会に出席した。

公友会は 発明協会の会員で、大手の広島県の企業や中小の企業、個人など誰でも年会費を払えば入会でき、色々な特許相談や情報入手などできる機関。(入会しなくても特許相談は無料でできる。)

講演、講習の後、会食となり、いろいろな会員と名刺交換と色々な話が出来た。

日頃あまり関係しない地元の企業との接触は、互いに色々な展開の可能性があり有益である。

2、「競技用自転車の補助ブレーキ装置」岩崎氏

競技用自転車に乗って気が付いたのだが、ゆったり乗っているときはハンドルの中央を持つが、ここにはブレーキがなく危険なので ここに第2のブレーキを設定する人がいるが、そのような構造にしてないため難しい。そこで、あらかじめ第2のブレーキを設置できるようケーブルの取り付け部を改造するようにし実用新案で出願した。

3、「アタッチセイフティーカッター」光広氏

新タイプが出来たので、試作品を評価してもらった。

カット自体は変わらないが、磁力が強くて女性など力があまりない人はやはり楽であるようだ。

ベースが単純な丸い形状より 現在の耳がある形状の方が可愛くてよさそう。

その他、現在の構造はレイアウトに無理があり組付け、部品加工に無理があるため再度改良していく予定。

4、「鍋に取り付ける蒸気笛」島田氏

蒸気笛には箸と紐がついていたが、もっと簡略できないという意見があり クリップを加工して作ってみたが、音が小さくなりまだまだ穴の形状の検討が必要。

5、「ヒット率100%」光広氏

久々にこの本を読んで現在の自分を再度見直したところ、本に書かれた内容に沿っていないことがわかり、何が不足していたかを考えてみた。

これは自分だけでなくこのグループに言えることかもしれないが、いろんなヒット商品を見てどのようなものが売れているか、どんな物が売れていないかを見る目(着眼ポイント)が養われていないことに気が付いた。これが育てていければ、100%のヒットする商品が誕生出来る考えるのだが。

(苦情法と着眼法)

6、「柔らか物をつかむフォーク」岩崎氏

柔らかい熟した柿を食べるときに気が付いたのだが、2本のフォークで交差させてさせればちゃんとつかめることがわかり、このような装置を考えて実用新案で出願した。

7、「会社訪問について」光広

以前、常務が当クラブ見学に来られた吉島にある「シーコム」へ先日訪問した。

目的は、発明ゆめクラブ広島の紹介と 今までの作品の説明と今後、当クラブとの連携の勧誘

でした。シーコムはマツダの車のボデー、シャーシーのプレス、溶接を行っている協力会社で、観音には三菱の飛行機の部品なども作っているが、それだけでは今後の成長が見込めないため新たな自社製品を作りたいと考えている。

忘年会

「丸海屋 広島駅南口店」 17時～19時

参加：5名 2時間食べのみ放題 3250円

ここは駅前で交通の便が良く窓際だと外が良く見えて部屋もきれいだ。

おいしいものを食べ、飲みしながら 今年のこと、これからのことを色々話が出来た。

